

令和6年度沖縄県立芸術大学入学式  
(知事祝辞)

ハイサイ グスーヨー チューウガナビラ

令和6年度沖縄県立芸術大学入学式にあたり、ウユエーヌ クトウバ（お祝いを）  
ウンヌキヤビラ（申し上げます）。

本日、晴れて入学される皆様、御入学誠にめでたうございます。また、御家族をはじめ関係者の皆様にも心からお喜び申し上げます。

沖縄県立芸術大学は、昭和61年の開学以来、伝統芸術の継承と発展はもとより、新たな芸術創造の可能性を広げ、地域ひいては世界の芸術文化の発展に寄与できる人材を育成し、社会に送り出すことで、本県の芸術文化及び地域社会の発展に貢献してこられました。

沖縄県立芸術大学のある古都首里は、琉球王国時代、政治・外交・文化の中心地として、アジア諸国との交易を通じ、国際色豊かな独自の芸術・文化を創造した由緒ある場所であります。

この首里にあって、琉球王国の象徴であり沖縄県民の誇りであった首里城が、令和元年10月、正殿を含む建物8棟を火災により焼損してしまいましたが、県民や国内外の皆様の温かな御支援を賜り、首里城正殿復元工事が執り行われているところです。

沖縄県としましては、首里城の復元を通して伝統建築や美術工芸における技術の継承、人材の育成を図る取組の推進、首里城及びその周辺エリアにおいて、関係団体と連携し、組踊や空手、県内各地の伝統芸能の鑑賞など、琉球文化を体感できる機会の創出に取り組み、文化の継承・発展に繋げていきたいと考えております。

新入生の皆様には、このような歴史と伝統ある首里の地において、多くの学友とお互いに切磋琢磨し、励まし合いながら、豊かな感性や個性を磨き、沖縄の伝統文化の継承発展、新しい芸術文化の創造の担い手として、勉学に励まれることを期待しております。

結びに、入学生の皆様の前途が輝かしいものになるよう、祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

クリカラヌ 学生生活 チバティ クィミソーリヨー

令和6年4月2日

沖縄県知事 玉城 デニー